

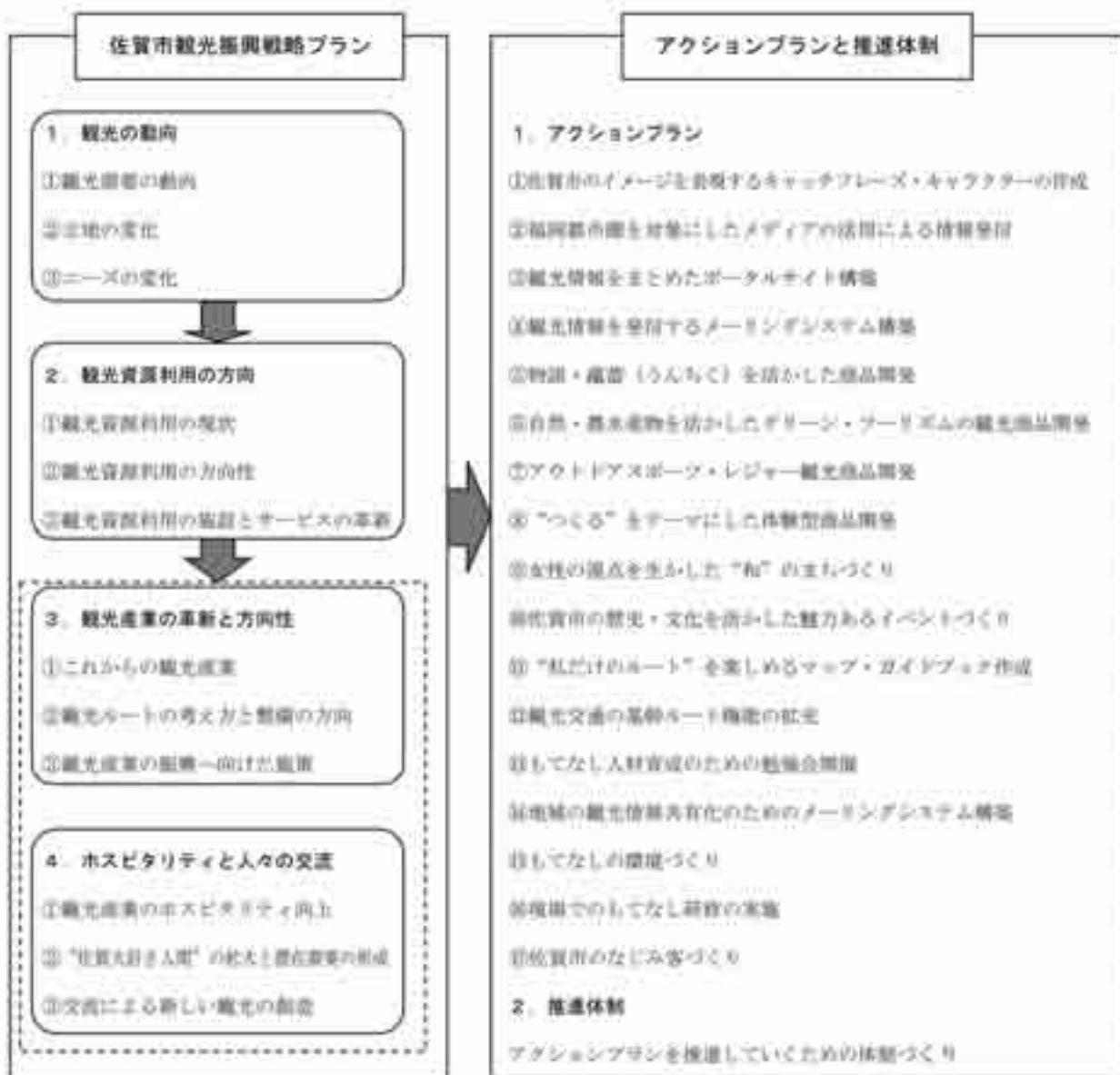
3. 観光・文化

(1) 佐賀市観光振興戦略プラン 1-1

佐賀市総合計画では、『人と自然が織りなす「やさしさと活力にあふれるまち」さが』をキーワードに、「佐賀の個性を生かした魅力ある地域産業の実現」を掲げ、地域にある多種多様な資源を生かした観光の振興を図っていくこととしている。

これを受け、平成18年度にこれからの観光振興の基本的な方向を示す佐賀市観光振興戦略プランを策定した。現在、策定したプランに基づき、福岡都市圏への情報発信や地域情報発信の仕組みづくり、観光商品づくり、もてなしの人材育成・環境づくりなどをテーマにした、17の具体的なアクションプランを企画・実施していくための推進を図っている。

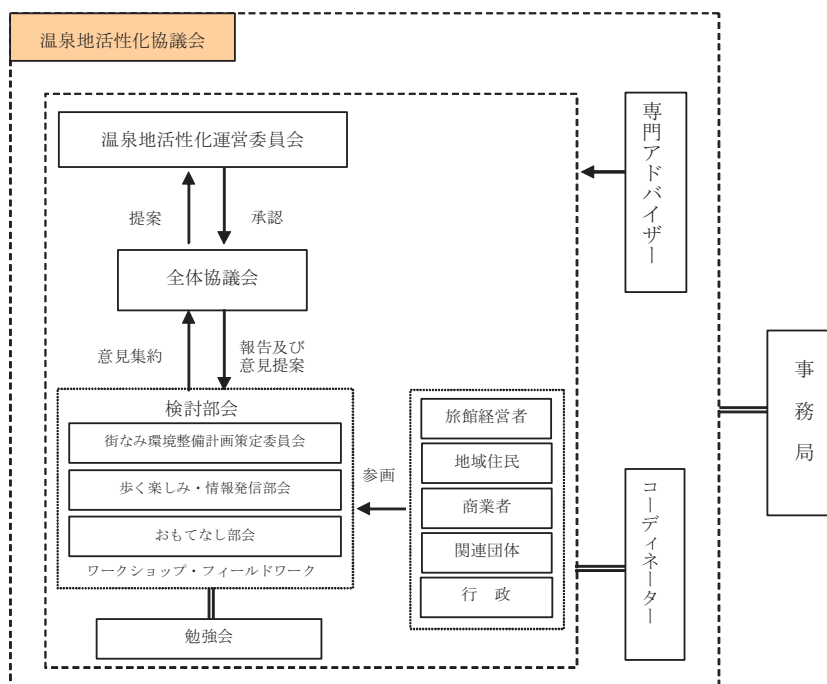
佐賀市観光振興戦略プランの概要



1 - 1

本計画において、良質な泉質の強みを生かすため、「母の羊水温度と同じ38℃の泉温」から導き出した「生命やしなう源づくり」を統一スローガンに、景観形成・散策マップの作成・おもてなし力向上など、5つの柱と11の事業を掲げ、地域が一体となった取り組みを行っていく。

＜推進体制＞



＜5つの柱と11の事業＞

事業名		実施スケジュール				期待される効果
		H19	H20	H21	H22・23	
1. 情緒ある温泉地景観づくり	①街なみ環境整備計画策定事業	●→				・統一された、心落ち着く温泉地が形成される ・地域のイメージがアップする ・地域住民の意識が向上し、地域への愛着が高まる
	②温泉地景観・修景事業	●→			→	
2. 歩く楽しみづくり	③「散策のススメ」推進事業	●→			→	・温泉地の魅力が高まる ・観光客の滞在時間が延びる ・地域づくりの担い手が育成される ・地域の魅力を再認識することができる
	④散策道沿線整備事業		●→		→	
	⑤未利用資源等活用事業		●→		→	
3. おもてなしの心づくり	⑥温泉地美化活動推進事業	●→			→	・地域のイメージがアップする ・リピーターが増える
	⑦「古湯・熊の川温泉郷」連携イベント事業	●→			→	・地域住民の意識が向上し、地域への愛着が高まる ・地域住民の事業への積極的参画が促進される
	⑧おもてなし力向上事業	●→			→	
4. 情報発信と受入れ体制づくり	⑨「古湯・熊の川温泉郷」情報発信事業	●→			→	・古湯・熊の川温泉の認知度が高まる ・地域住民の事業への積極的参画が促進される
	⑩広域観光戦略プロジェクト事業			●→	→	・周辺地域との連携が強化される
5. 地元の体制づくり	⑪古湯・熊の川温泉地活性化協議会運営事業	●→			→	・事業が円滑に推進される

(3) 観光動向

① 観光客数、日帰り・宿泊の場合

《平成18年：473.2万人》

宿泊者は多くの施設で前年を下回る結果となったものの、好天に恵まれたバルーンフェスタなどの影響により日帰り客は前年を上回り、観光客全体としては、昨年の実績を上回った。

(千人)

区 分	H 16	H 17	前年比	H 18	前年比
日帰り客数	4,445.4	4,106.7	92.4%	4,189.8	102.0%
宿 泊 客 数	540.8	560.1	103.6%	542.5	96.9%
合 計	4,986.2	4,666.8	93.6%	4,732.3	101.4%

② 発地別入込観光客数

《県内客は20.4%、福岡県からの観光客は21%》

平成18年の入込観光客のうち、県内客は20.4%、佐賀県を除く九州内からの入込客は26.6%となっており、うち福岡県が21%を占めている。

(千人)

平成18年 観光客数	佐賀県内	九州内(除佐賀県) (福岡県再掲)	四国地方	中国地方	近畿地方	そ の 他
4,732.3	965.4	1,258.8 [984]	89.9	246.1	553.7	1,618.4
割合(%)	20.4	26.6 21	1.9	5.2	11.7	34.2

(4) 観光消費額

《平成18年：15,782百万円》

ここ数年減少傾向にある。特に宿泊者数の減少による宿泊費の減少の影響が大きい。

(百万円)

区 分		H 16	H 17	前年比	H 18	前年比
消費額	年 間	16,452	16,064	97.6%	15,782	98.2%
	一人当たり(円)	3,299	3,442	104.3%	3,335	96.9%
宿 泊 費		4,250	4,384	103.2%	4,243	96.8%
飲 食 費		4,589	4,424	96.4%	4,434	100.2%
土 産 品 費		1,062	1,021	96.1%	1,022	100.1%
交 通 費		4,370	4,272	97.8%	4,252	99.5%
参 観 費		1,832	1,637	89.4%	1,483	90.6%
そ の 他		349	326	93.4%	328	100.6%

(5) イベント・まつり

○熱気球大会の実施

1980年（昭和55年）から佐賀市で開催してきた熱気球大会は、1984年（昭和59年）から国際大会となり、その後1989年（平成元年）と1997年（平成9年）には世界選手権を開催した。

27回目の大会となる平成18年度は、11月1日～5日の期間で「2006 佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」を開催。

年 度	H 14	H 15	H 16	H 17	H 18
観客動員数（千人）	600	894	997	798	887

○佐賀城下ひなまつりの開催支援

平成12年度より行われている市民によるひなまつりの開催を支援することにより、早春の佐賀市観光の風物詩としての定着を図る。

〔開催期間（18年度）：2月17日～3月31日〕

年 度	H 14	H 15	H 16	H 17	H 18
観客動員数（千人）	83	92	103	102	93

(6) 観光施設の管理運営 1 - 1

佐賀市歴史民俗館（佐賀市柳町2-9、松原四丁目3-15 tel 22-6849）

旧長崎街道沿いの柳町と松原四丁目に所在し、旧古賀銀行、旧古賀家、旧牛島家、旧三省銀行、旧福田家の5施設を総称して佐賀市歴史民俗館としている。建物はそれぞれが歴史的建造物として市の重要文化財に指定されており、一般公開している。

旧古賀銀行には長崎街道関係の資料等の展示と飲食コーナーを設置しており、旧古賀家と旧福田家は貸館として茶道や華道の教室などに利用されている。また、旧福田家では佐賀の伝統工芸である佐賀錦の実演と展示を行っている。

そのほか、「佐賀城下ひなまつり」などのイベントを開催しているが、歴史文化遺産の観光的な活用を図るための整備活用策を検討している。

（平成18年度の来館者数：169,114人）

佐賀市大隈記念館（佐賀市水ヶ江二丁目11-11 tel 23-2891）

早稲田大学の創設者であり政治家であった大隈重信の生誕125年を記念して建設された記念館。館内には大隈重信に関する資料を展示している。

（平成18年度の来館者数：11,467人）

大隈重信旧宅（佐賀市大隈記念館敷地内）

大隈重信の生家。天保以前の武家屋敷として貴重なもので、国史跡に指定されている。

旧筑後川橋梁（筑後川昇開橋）（佐賀市諸富町大字為重地先）

筑後川をはさんで佐賀市（旧諸富町）と大川市を結ぶかつての鉄道橋で、高さ約30mの東洋一の可動鉄橋。平成15年に国の重要文化財に指定された。

現在は歩道橋として再利用され、夕日の美しいスポットで、遊覧船も運航されている。

（平成18年度の通行者数：50,358人）

巨石パーク（佐賀市大和町大字梅野329－5 tel 64－2818）

標高200～350mの地点に10m以上の巨石群が17基占点在。中腹には釣り体験コーナーなどがある。

（平成18年度の来園者数：20,907人）

やまびこ交流館（佐賀市三瀬村藤原3890－1 tel 56－2150）

昭和の古き良き時代を思わせる茅葺きと、瓦葺きの農家の住宅をモデルに移築復元したやまびこ交流館は、いろいろも設置され、なつかしさ、ふるさとの想いが響きあう建物。

一棟まるごとの貸切で宿泊や会議などにも利用できる。隣接した土蔵内には昔の農具なども展示している。

（平成18年度の来館者数：3,863人）

山中キャンプ場（佐賀市三瀬村三瀬993 tel 56－2655）

吉野山キャンプ場（佐賀市三瀬村藤原186－10 tel 56－2610）

緑豊かな自然環境を体験できるキャンプ場。

（平成18年度来場者数：山中キャンプ場 1,086人、吉野山キャンプ場 1,537人）

（7）温泉施設の管理運営 1－1

① 効果的な基盤整備と仕組みづくり

観光資源である温泉を効果的に観光産業の振興につなげる。

○市営温泉の管理運営

熊の川温泉「衛の湯」、三瀬温泉「やまびこの湯」を管理運営することにより、観光産業の振興を図り、地域の活性化につなげる。

○泉源管理事業

泉源や、各旅館への温泉給湯設備、温泉給湯使用料の管理を行い、温泉の適正な使用とその保護を図る。

（8）文化活動の促進・伝統文化の継承 4－6～7

優れた文化に触れたり、創造活動を行ったりすることは、心豊かに暮らすことができる潤いと活力のある社会を創ることにつながる。市民自らの文化活動を奨励するとともに、文化団体、グルー

ブ等の育成を図る。また、地域の特性と関連した生活文化や子どもの文化活動の推進にも努める。

また、祭り、民話、伝統芸能、伝統技能などの伝統文化を調査記録し、情報を発信する。また、市民が伝統文化に触れ合う機会を提供する。

○文化祭等の支援

- ・佐賀市市民文化祭（佐賀市文化連盟主催）

第18回となる平成18年度は、平成18年4月29日（土）～9月10日（日）の期間で開催。

第19回となる平成19年度は、平成19年4月21日（土）～9月9日（日）の期間で開催。

- ・諸富町文化祭（佐賀市文化連盟諸富支部主催）

第30回となる平成18年度は、平成18年11月5日（日）～8日（水）の期間で開催。

第31回となる平成19年度は、平成19年11月10日（土）～13日（火）の期間で開催予定。

- ・大和町文化連盟発表会（佐賀市文化連盟大和支部主催）

第25回となる平成18年度は、平成19年3月4日（日）に開催。

第26回となる平成19年度は、平成20年2月17日（日）に開催予定。

- ・佐賀市文化連盟富士支部発表会（佐賀市文化連盟富士支部主催）

第12回となる平成18年度は、平成19年2月25日（日）に開催。

第13回となる平成19年度は、平成20年2月24日（日）に開催予定。

- ・三瀬村文化連盟合同発表会（佐賀市文化連盟三瀬支部主催）

第1回となる平成18年度は、平成18年11月3日（祝）に開催。

第2回となる平成19年度は、平成19年11月3日（祝）に開催予定。

○文化施設の管理運営

- ・浮立の里展示館（佐賀市富士町大字市川366-1 tel 58-2223）

旧富士町に伝わる5地区の「浮立」の保存・伝承を目的とした展示館で、写真やパネル、人形などを使い立体的に展示している。また、地域住民の交流の場、都市部の人々の憩いやくつろぎの場としても利用されている。

（平成18年度の来館者数：1,136人）

- ・山口亮一旧宅（佐賀市与賀町1368 tel 60-2978）

明治期の佐賀を代表する洋画家であり、佐賀美術協会の創設者である山口亮一画伯の旧宅。天保期に、白石の須古にあった建物を解体し、現在地に移築したと伝えられている。

老朽化が進行していたが、平成17年度にNPOを中心とした市民の手によりよみがえり、平成18年度に「22世紀に残す佐賀県遺産」に認定された。

現在、NPOを中心に、さまざまな文化活動の場として活用されている。

（平成18年度の来館者数：2,213人）

4. 佐賀市文化会館・佐賀市民会館 4 - 7

- (1) 管理運営 (指定管理者) 財団法人 佐賀市文化振興財団
- | | | | | | |
|-------|---------|-----|---|-----|---|
| 職 員 数 | 佐賀市文化会館 | 館 長 | 1 | 事務局 | 9 |
| | 佐賀市民会館 | 事務局 | 2 | | |
- (佐賀市交流センター 事務局 2)

(2) 建物概要

① 佐賀市文化会館 (tel 32-3000)

所 在 地 佐賀市日の出一丁目21番10号

敷地面積 30,157.44㎡

建築面積 9,701㎡

構 造 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、地上4階、地下1階

工 期 昭和62年8月～平成元年7月

総事業費 76億4,000万円

開 館 平成元年10月1日

○大ホール (音楽を主とした多目的ホール)

収容人員 1,811席 (固定席1,806、車椅子席5)

舞 台 間口20m、高さ10m、奥行18m

設 備 オーケストラピット、小迫り、音響反射板、残響可変装置、楽屋5室、幼児室、
グランドピアノ2台

○中ホール (演劇を主とした多目的ホール)

収容人員 814席 (固定席808、車椅子席6)

舞 台 間口16m、高さ8m、奥行18m

設 備 大迫り、小迫り、音響反射板、楽屋4室、幼児室、グランドピアノ2台、映写機

○イベントホール (調光、音調設備を有する多目的な平土間ホール)

収容人員 立席500人、椅子のみ400人、机・椅子300人

面 積 492㎡

○リハーサル室 204㎡

○練 習 室 第1練習室135㎡、第2練習室97㎡、第3練習室63㎡

○大 会 議 室 205㎡ 収容人員 130人

○小 会 議 室 56㎡ 収容人員 20人

○特別会議室 56㎡ 収容人員 10人

○和 室 30畳

○駐 車 場 普通車 400台

○喫茶・レストラン 80席

② 佐賀市民会館 (tel 24-5271)

所在地 佐賀市水ヶ江一丁目2番20号

敷地面積 6,501㎡

建築面積 2,621㎡

構造 鉄筋コンクリート造、地上3階、地下1階

総事業費 3億1,000万円

開館 昭和41年4月1日

○ホール

収容人員 固定席1,031席、立見スペース2列

舞台 間口18m、高さ8m、奥行12m

設備 オーケストラピット、大迫り、音響反射板、グランドピアノ2台、16ミリ映写機2台、楽屋6室

○大会議室 216㎡ 収容人員 144人

○第1会議室 146㎡ 収容人員 84人

○第2会議室 55㎡ 収容人員 30人

○第3会議室 72㎡ 収容人員 20人

○第4会議室 64㎡ 収容人員 20人

○和室 48㎡ 収容人員 20人

○駐車場 普通車 34台（身体障害者用2台含む）

(3) 平成18年度施設別利用状況

① 催物別利用状況

単位 (件)

	文 化 会 館			市 民 会 館 ホ ー ル
	大 ホ ー ル	中 ホ ー ル	イ ベ ン ト	
音 楽	71	47	4	22
講 演 ・ 大 会	44	71	85	23
演 劇	16	0	0	22
舞 踊 ・ 芸 能	11	9	1	7
展 示 そ の 他	8	14	93	0
合 計	150	141	183	74

② 施設利用率年度対比

文化会館

単位 (%)

	17年度	18年度
大 ホ ー ル	67.0	77.0
中 ホ ー ル	76.8	76.7
イベントホール	82.6	82.2
大 会 議 室	90.9	89.0
小 会 議 室	58.8	67.3
特 別 会 議 室	22.3	31.7
和 室	43.9	53.4
リハーサル室	95.9	96.4
練 習 室 1	76.2	71.8
練 習 室 2	79.9	86.7
練 習 室 3	91.5	93.2
合 計	71.6	75.0

市民会館

単位 (%)

	17年度	18年度
ホ ー ル	53.0	51.1
大 会 議 室	51.4	59.0
第 1 会 議 室	83.6	86.4
第 2 会 議 室	80.3	81.6
第 3 会 議 室	22.9	23.7
第 4 会 議 室	65.5	66.8
和 室	35.7	45.2
合 計	56.2	59.3